

平成医療福祉グループ関連病院を受診した患者さんおよびご家族の方へ

研究課題:脳卒中患者におけるたんぱく質エネルギー比率と嚥下機能および ADL 改善との関連性の検討

(採択番号:)

1. 研究の対象

世田谷記念病院(院長:清水英治)、多摩川病院(院長:後藤紀史)の回復期リハビリテーション病棟に2019年1月1日～2025年5月31日までに入院した、脳卒中後の入院時に嚥下調整食を摂取していた患者様

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、嚥下調整食を摂取している脳卒中患者における、たんぱく質エネルギー比率が嚥下機能や ADL の改善に与える影響を明らかにすることです。さらに、たんぱく質とエネルギー摂取量のバランスに着目し、嚥下調整食患者に対する適切な栄養管理方法を検討します。

方法:各病院の電子カルテの診療録より後方視的にデータを収集し、分析します

研究に用いるデータの期間:2019年1月1日～2025年5月31日

研究実施期間:2025年7月～2026年9月

3 研究に用いるデータソース

本研究では、データは名前や患者 ID など個人を特定できる情報を除外したデータを収集します。これらのデータは、個人が特定されないよう適切に管理され、研究目的のみに使用されます。収集するデータは以下の通りです。

<収集するデータ>

年齢、性別、疾患分類、チャールソン併存疾患指数、発症から回復期入院までの日数、在院日数、要介護度、身長、体重、BMI、FOIS、FIM、骨格筋指数、握力、歩行速度、摂取エネルギー量、摂取たんぱく質量、MNA-SF、義歯の有無と適合、MMSE、嚥下訓練の有無、代替栄養の併用の有無

4 データ保管方法等

データは、アクセス制限を行ったクラウドにて管理します。解析は、代表研究者のセキュリティの保障された PC にて分析を行います。ファイルにはパスワードを設けます。データについては、5 年間厳重保管した後処分いたします。

5 研究実施に際し行う倫理的配慮

本研究への参加は自由意思であり、参加の有無に関わらず一切の不利益を被らないこと、データ収集時は氏名や住所等、個人を特定できる情報は収集せず、仮名加工情報とし

て管理します。また、本研究で得られた研究成果を学会等でも個人を特定できない形で発表を行います。さらに「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り人権擁護に最大限配慮いたします。

本研究での情報の利用を望まれない方は情報の利用を停止いたしますので、6. お問い合わせ先までお申し出ください。また、情報の利用停止をお申し出いただいた患者さんが不利益を受けることはありません。

6 お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出下さい。

お問い合わせおよび研究への利用を拒否する場合の連絡先

研究機関名 : 医療法人 平成博愛会 世田谷記念病院
所在地 : 〒158-0092 東京都世田谷区野毛 2-30-10
連絡先 : 電話 03-3703-5100
e-mail : awata.mayu@hmw.gr.jp
研究責任者 : 栗田 麻友